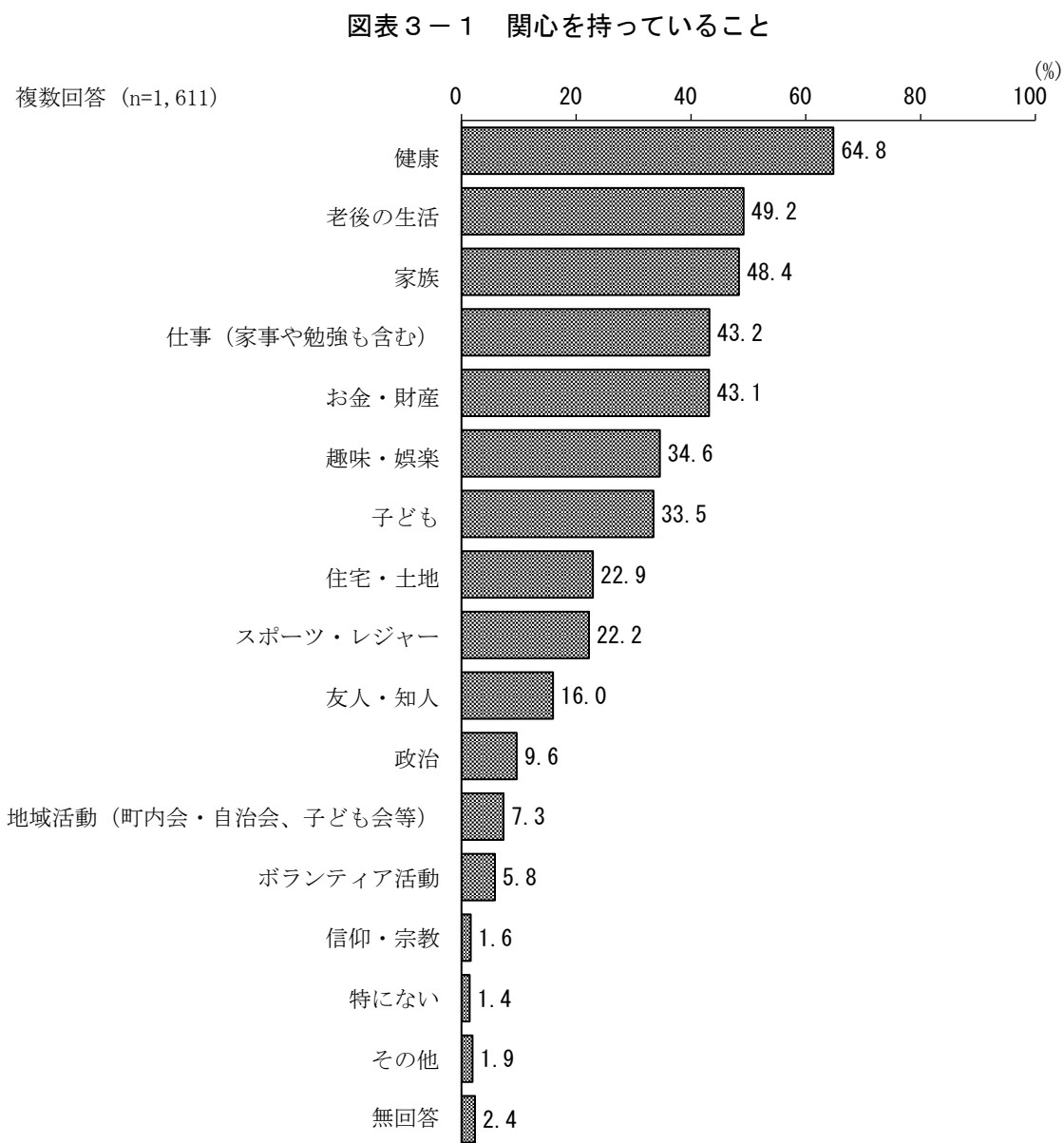


### 3 関心ごとと行動範囲について

#### 3-1 関心を持っていること

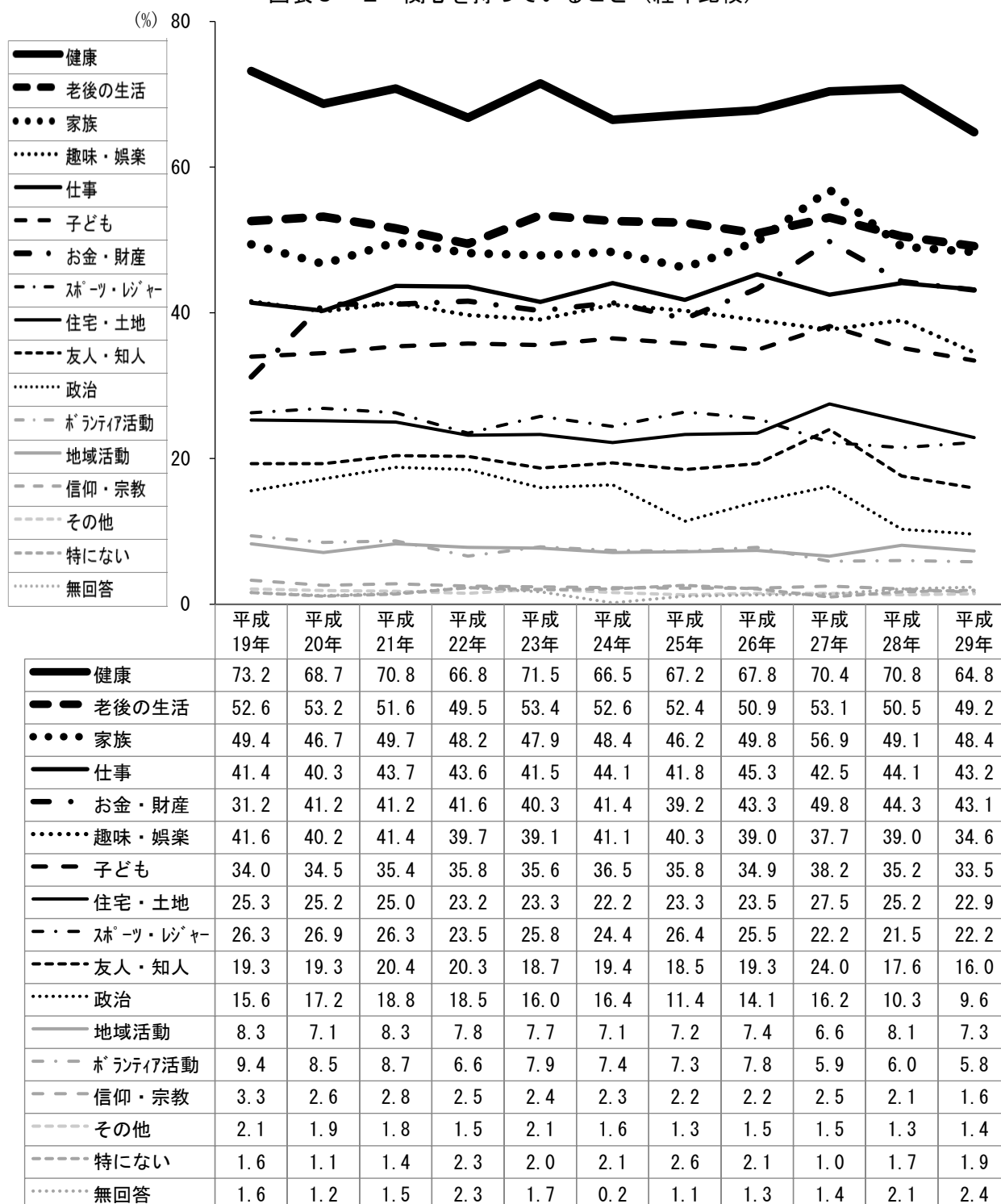
◎「健康」が64.8%

問7. あなたは、現在特に関心をお持ちのことは何ですか。(〇はいくつでも)



関心を持っていることは、「健康」(64.8%)が最も高く、次いで、「老後の生活」(49.2%)、「家族」(48.4%)、「仕事(家事や勉強も含む)」(43.2%)、「お金・財産」(43.1%)の順となっている。

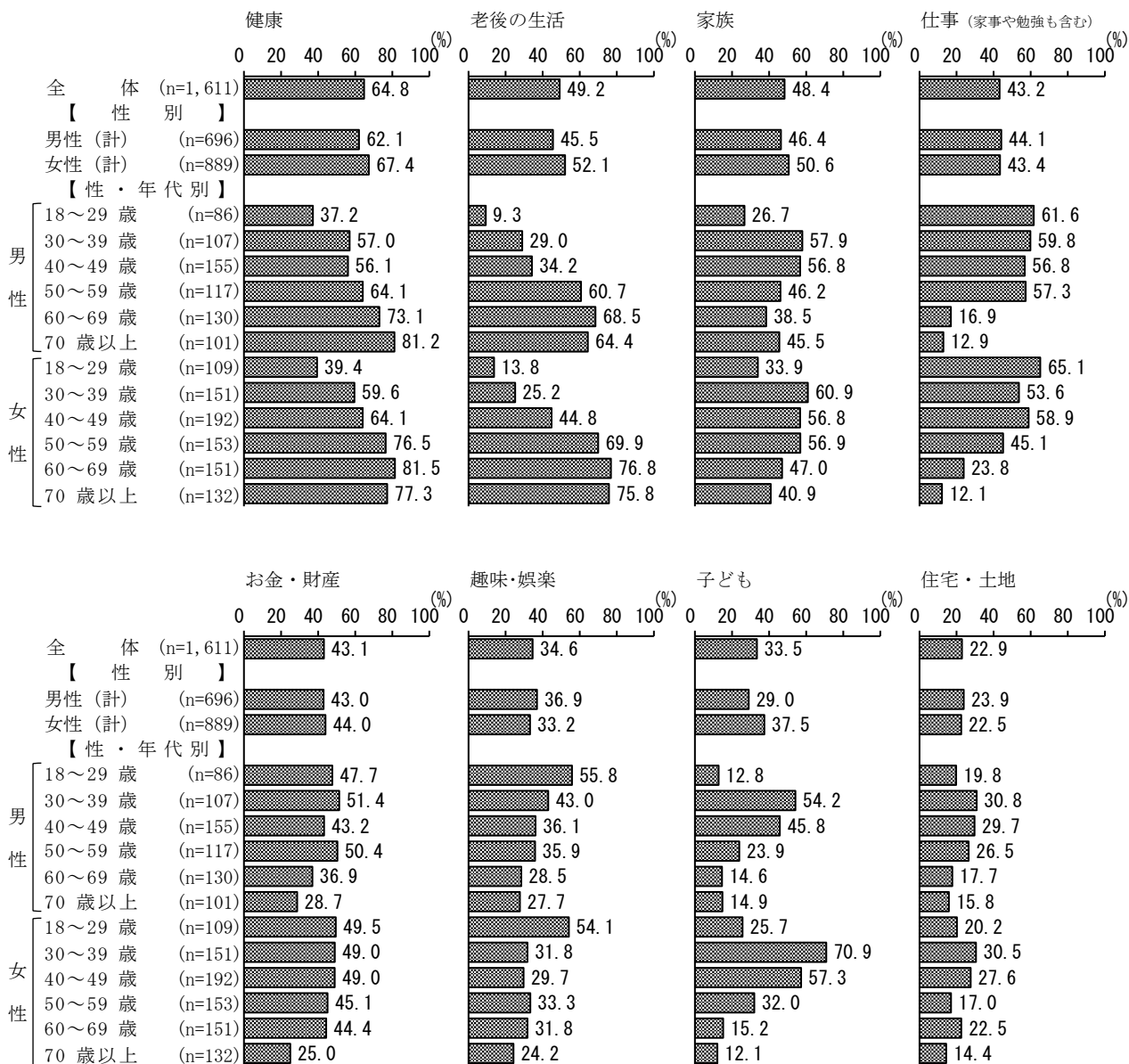
図表3-2 関心を持っていること（経年比較）



平成19年度からの推移をみると、「健康」が最も高く、これに「老後の生活」と「家族」を加えた3項目が、常に関心度上位3項目となっている。

その他の項目については、「お金・財産」は漸増傾向、「趣味・娯楽」、「スポーツ・レジャー」、「ボランティア活動」は漸減傾向となっている。

図表3-3 関心を持っていること(性/年齢別、上位8項目)



性/年齢別では、「健康」は、男性は60~69歳と70歳以上、女性は50歳以上の年代で特に高い。

「老後の生活」は、男性は60~69歳(68.5%)が最も高い。女性は50歳以上の年代で高く、60~69歳(76.8%)で最も高い。

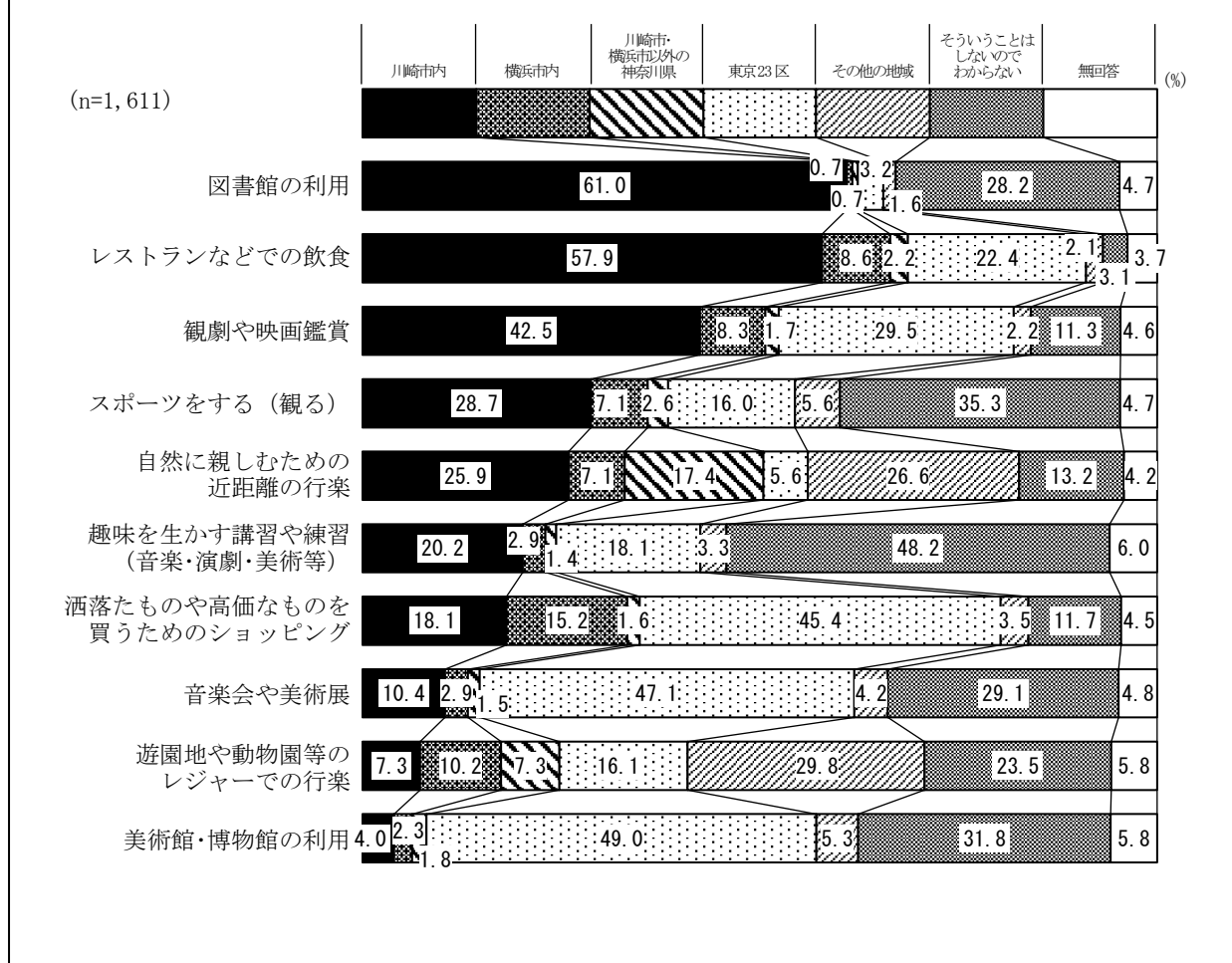
「家族」は、男性は30~39歳と40~49歳で、女性は30~39歳、40~49歳、そして50~59歳で高い。

### 3-2 行動範囲

◎『川崎市内』が最も高いのは、「図書館の利用」で61.0%

問8. あなたは、行楽や文化施設の利用・買い物などをされる場合、主にどこに行かれますか。それぞれ項目ごとにお答えください。(〇はそれぞれ1つずつ)

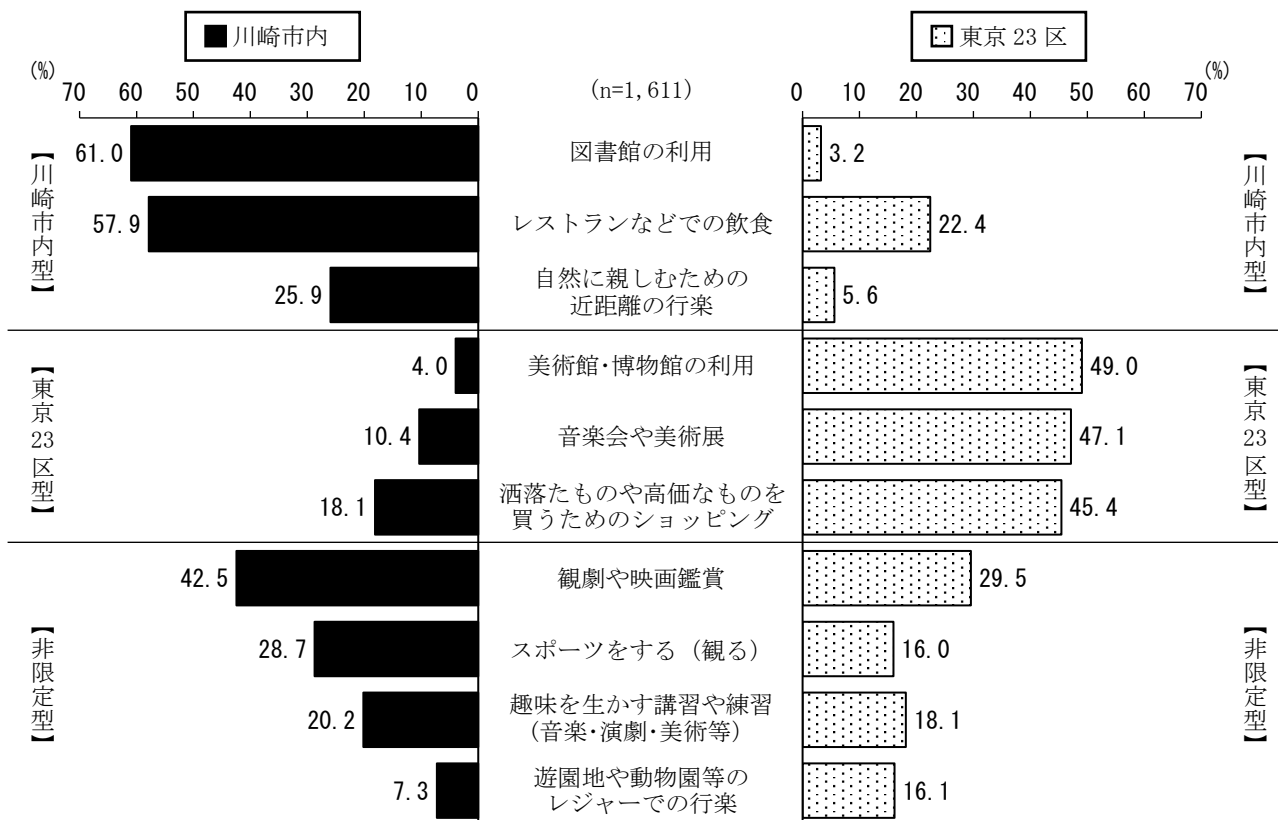
図表3-4 行動範囲



川崎市民の行動範囲で『川崎市内』が最も高いのは、「図書館の利用」(61.0%)で、次いで、「レストランなどでの飲食」(57.9%)、「観劇や映画鑑賞」(42.5%)の順となっている。一方、『東京23区』が最も高いのは、「美術館・博物館の利用」(49.0%)で、次いで、「音楽会や美術展」(47.1%)、「洒落たものや高価なものを買うためのショッピング」(45.4%)の順となっている。

上記以外について、「遊園地や動物園等のレジャーでの行楽」と「自然に親しむための近距離の行楽」では『その他の地域』が、それぞれ29.8%、26.6%で最も高く、「趣味を生かす講習や練習(音楽・演劇・美術)」と「スポーツをする(観る)」では『そういうことはしないのでわからない』が、それぞれ48.2%、35.3%で最も高くなっている。

図表3-5 行動範囲（『川崎市内』と『東京23区』との比較）



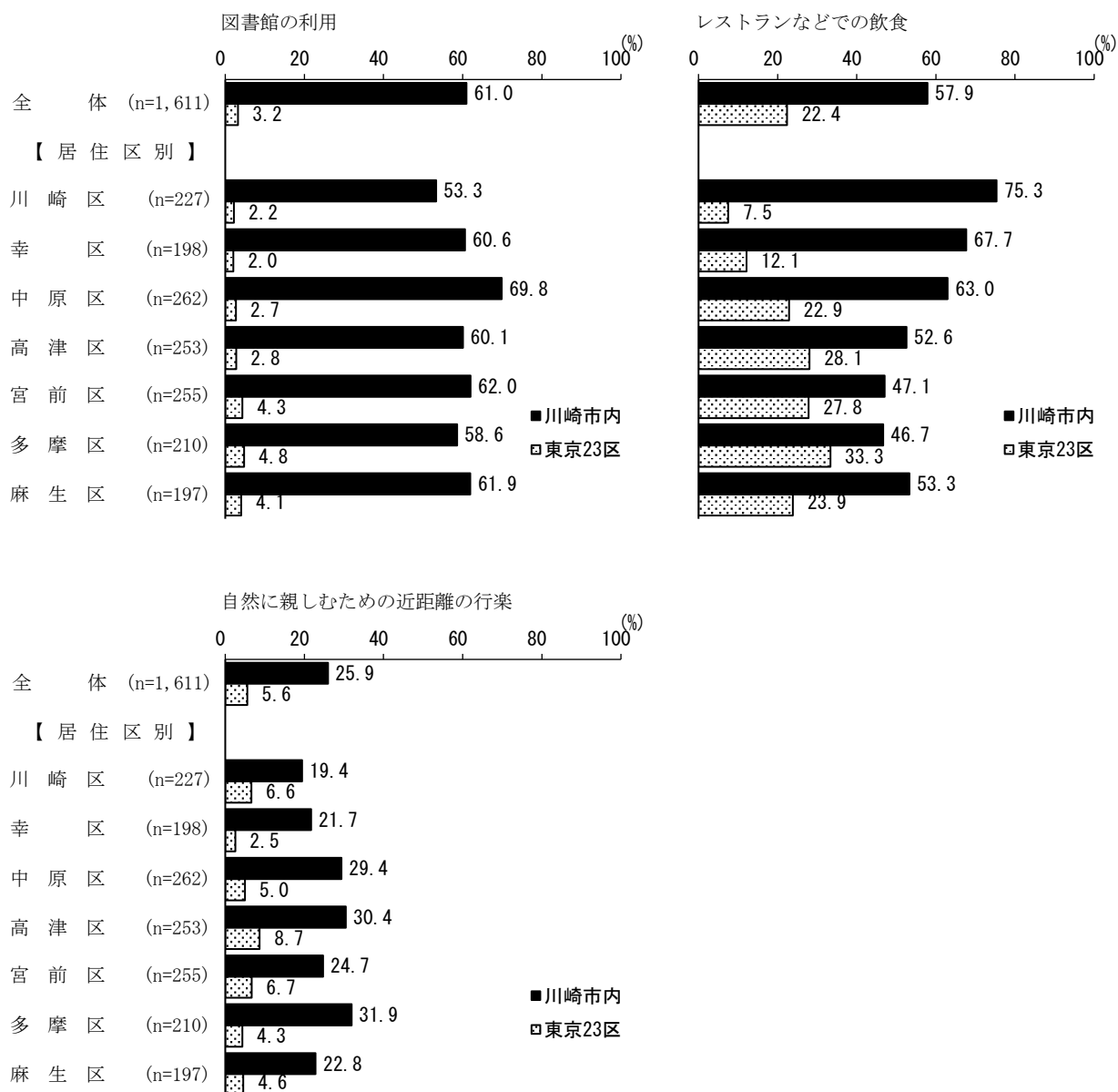
各項目について、行動範囲別に【川崎市内型】、【東京23区内型】、【非限定型】に分類すると、以下のようになる。

【川崎市内型】 ..... 図書館の利用  
 レストランなどでの飲食  
 自然に親しむための近距離の行楽

【東京23区内型】 ..... 美術館・博物館の利用  
 音楽会や美術展  
 洒落たものや高価なものを買うためのショッピング

【非限定型】 ..... 観劇や映画鑑賞  
 スポーツをする（観る）  
 趣味を生かす講習や練習（音楽・演劇・美術等）  
 遊園地や動物園等のレジャーでの行楽

図表3-6 行動範囲（『川崎市内』と『東京23区』との比較、居住区別）【川崎市内型】

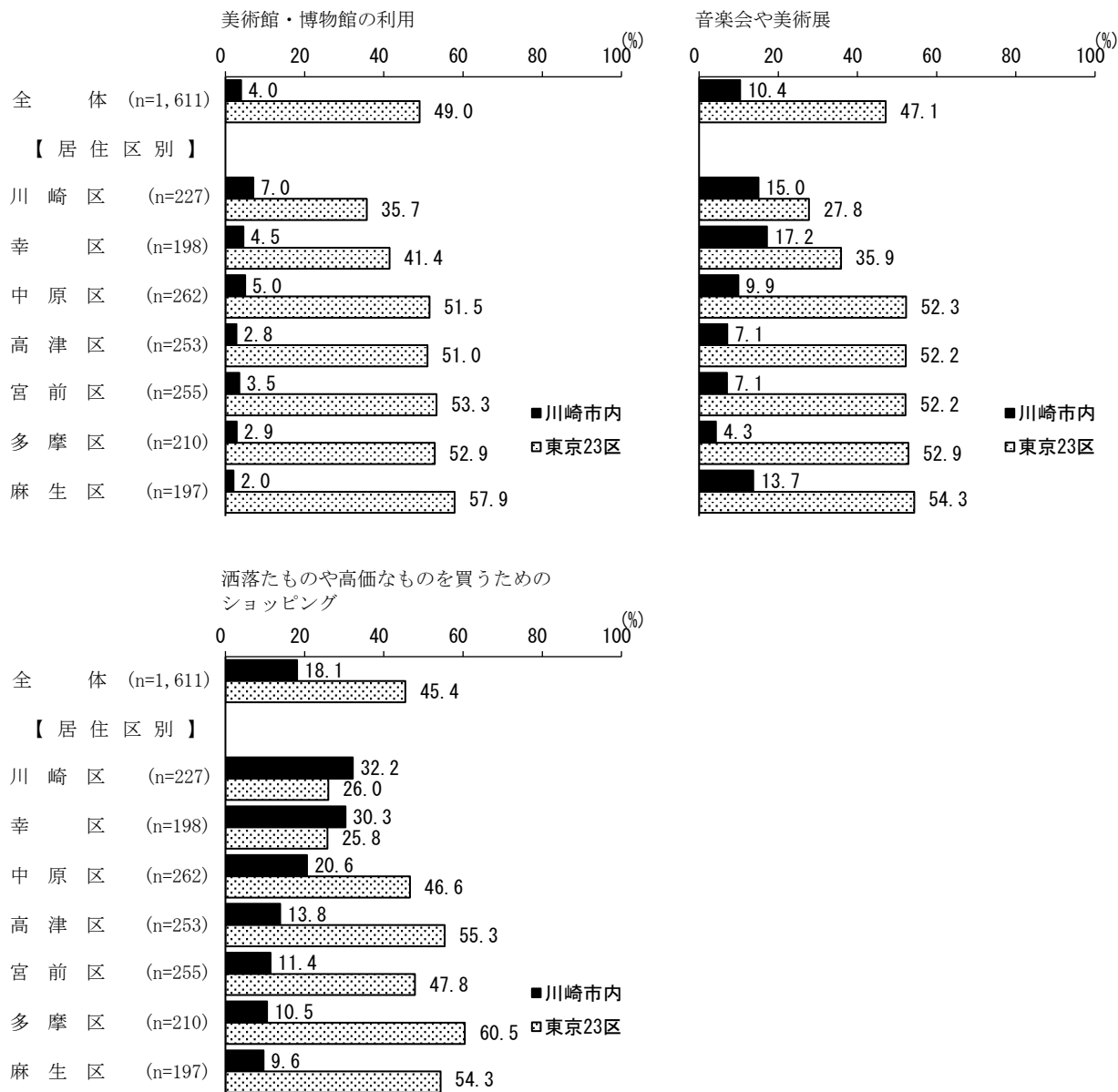


【川崎市内型】に分類した『川崎市内』での利用率が高い3項目を、居住区別で比較すると、「図書館の利用」は、中原区（69.8%）が最も高く、『東京23区』での利用率は、いずれの居住区においても5%未満と低い。

「レストランなどでの飲食」は、川崎区（75.3%）が最も高く、『東京23区』での利用率は、多摩区（33.3%）が最も高い。

「自然に親しむための近距離の行楽」は、多摩区（31.9%）が最も高く、『東京23区』での利用率は、いずれの区においても1割未満となっている。

図表3-7 行動範囲（『川崎市内』と『東京23区』との比較、居住区別）【東京23区内型】

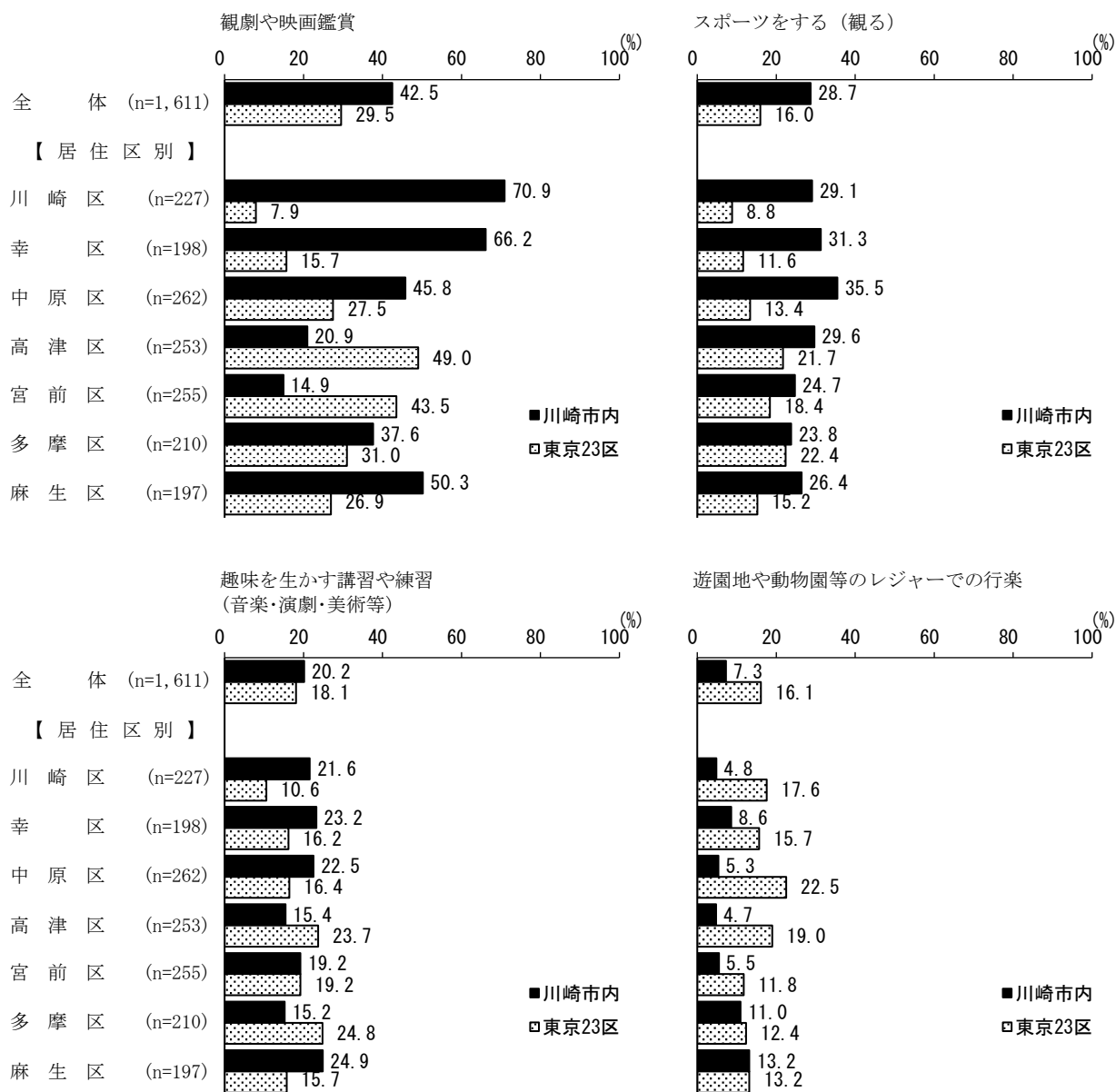


【東京23区内型】に分類した『東京23区』での利用率が高い3項目を、居住区別で比較すると、「美術館・博物館の利用」は、麻生区（57.9%）が最も高く、『川崎市内』での利用率は、いずれの居住区においても1割未満と低い。

「音楽会や美術展」も麻生区（54.3%）が最も高く、『川崎市内』での利用率は、幸区（17.2%）が最も高い。

「洒落たものや高価なものを買うためのショッピング」は、多摩区（60.5%）が最も高く、『川崎市内』での利用率は、川崎区（32.2%）が最も高い。

図表3-8 行動範囲（『川崎市内』と『東京23区』との比較、居住区別）【非限定型】



『川崎市内』と『東京23区』に限らず平均的な利用があると思われる【非限定型】4項目を居住区別で比較すると、「観劇や映画鑑賞」について、『川崎市内』での利用率は、川崎区（70.9%）が最も高く、『東京23区』での利用率は、高津区（49.0%）が最も高い。

「スポーツをする（観る）」について、『川崎市内』での利用率は、中原区（35.5%）が最も高く、『東京23区』での利用率は、多摩区（22.4%）が最も高い。

「趣味を生かす講習や練習（音楽・演劇・美術等）」について、『川崎市内』での利用率は、麻生区（24.9%）が最も高く、『東京23区』での利用率は、多摩区（24.8%）が最も高い。

「遊園地や動物園等のレジャーでの行楽」について、『川崎市内』での利用率は、麻生区（13.2%）が最も高く、『東京23区』での利用率は、中原区（22.5%）が最も高い。